

# 浄心寺だより

発行

浄心寺門信徒会

郵便番号714-0081

笠岡市笠岡2065

電話(0865)62-2623

FAX(0865)62-2595

振替01260-9-13760

この度の東日本大震災により被災された方々に心からお見舞い申し上げます



「明日ありと思ふ、このころのあだ桜  
夜半に嵐の吹かぬものかは」

親鸞聖人がお得度にあたって詠まれた歌と伝えられています。人生の儚さが端的に表されて、今さながらに私たちの心にひびきます。

## 「正信偈のこころ」

(一) 往生まちがいなし (二)

ご信心をいただいたら、それから後は、つねに不安のないよるこびばかりの日ぐらしができるのでしょうか。信心をいただいたら、何事にも動揺せず、苦悩はなくなり、喜びづめに喜び、楽しみづめに楽しむ人生になるのでしょうか。事実、そのように思っている人がいます。しかし、私たちは、ご信心をいただいたその後も、苦悩の人生を歩まなくてはなりません。信心をいただいても、怒り、そねみ、ねたむ心はなくなりません。阿弥陀如来のみ教えにあらうことができた感謝も喜びも、ついついおろそかになりがちです。有難い思いが希薄になることもあります。しかし、ひとたび信心をいただいたら、太陽が雲や霧におおわれてもその上で光り輝いて、雲や霧の下には闇がないように、毎日が煩惱の日暮しであっても、往生まちがいなしという安心の日暮しがめぐまれるのです。

本願にあいながらも、煩惱にさまたげられてその喜びの心がついおろそかになりがちな私たちです。お念仏を称えることもおこたりがちな私たちです。しかし、そのような私をお救いくださるための本願であったと、かえってお救いの確かさを味わうようになるのです。私たちは今、現に光明につつまれています。本願のみちびきに歩む私なのです。  
(朗読法話集Ⅱより)

ご案内

### 降誕会

五月十四日(土) 十三時半より

仏教讃歌と上方落語



# 春季彼岸会

## つとまる

三月二十二日、午後一時半より春季彼岸会および門信徒総追悼永代経法要が勤まりました。住職と副住職が内陣出勤し、みなさんで阿弥陀経をおつとめしました。

講師は庄原市、西教寺住職の藤井義英師でした。

「カエルの子はカエル」といいますが、人間も見かけだけは「人の子は人」といえます。しかし、



▲ 藤井義英師法話

姿かたちは人間でも、中身はといえば、環境や縁によって地獄、餓鬼、畜生にもなってしまうわれわれです。これらは自分の世界しか見えない、狭く自己中心的な生き方です。お念仏に出会い、阿弥陀如来の大きな世界に出会えた私たちは、中身も人間になれるよう、しっかりと生きていかねばなりません。

人生は旅、と言われます。しかし、旅というものは帰る場所がなければただの放浪です。私たちはお浄土という帰る場所があります。

大河ドラマで「死んだらまた会えますね」というセリフがありました。昔の日本にはこうした浄土の思想が浸透していました。死んだら終わりではありません。帰る場所を持つ大切さを、今一度考えてみたいものです。

### 法物 虫ぼし法座

七月十六日(土) 一時半  
ご法話

興学寺 覚王地昭見師  
どうぞお参りください

### 御影堂と阿弥陀堂

親鸞聖人七五〇回大遠忌法要に向けて着々と準備される「御影堂」(重要文化財)と阿弥陀如来像が安置されている本堂「阿弥陀堂」に参拝し、このたびの「東日本大震災」の一日も早い復興を願い手を合わせました。

この度は、国宝「飛雲閣」と本願寺書院を案内していただき、それぞれの間に描かれている障壁画に天井画、国宝「白書院」・国宝

「北能舞台」また数々の重要文化財をまのあたりにし、驚きとため息の連続でした。

余韻にひたりながら聞法会館の

## アソカの園



### 仏婦の旅路

親鸞さまをお慕いして

三月二十九日(火)、春めくなく本願寺参拝と「親鸞展」参観の旅の始まりです。

午前七時、笠岡ICから二十七名を乗せたバスは京都を目指して出発。渋滞もなく予定より早く本願寺に到着。

### 国宝・重要文化財拝観

「親鸞展」―生涯とゆかりの国宝―親鸞聖人のすべてがここに！と称するとおり、国宝九件、重要文化財三十六件に及ぶ多数の国指定文化財の展示です。作品保護のため期間中展示替え場面替えがあるので案内を確認して下さい。全員入口で音声ガイドを借りてさあ！拝観です。

親鸞の肖像画では国指定文化財五件全てが交互に展示され、当日は重文「熊皮御影」でした。

親鸞が直接筆を執った聖教文書も多数出展され災禍をくぐり抜けて伝わる国宝「教行信証(坂東本)」、「恵信尼書状類」等、ただただ見入るのみ。

また、各本山に伝わる法宝物にも目を奪われます。「親鸞聖人絵伝(万福寺伝来)」・「歎異抄」・「一尊十二光仏藕糸曼陀羅」など、史料というより、眼福の美術品でした。音声ガイドを聞きながら拝観されることをお勧めします。

信心の道をひたすらに歩まれた親鸞聖人の一端に触れられたような気がしました。またつぼみの桜に見送られ帰路につきました。

孝子記

門信徒の広場

地区委員さん  
登場



横島地区  
長安圭一さん  
(釋頭義)

横島地区、二十四戸の門信徒を取りまとめる長安さんは、退職後、お寺のご晨朝勤行(おあさじ)に欠かさずお参りし、門信徒会の行事にも積極的に参加されています。その熱心さが高齢のため後任を捜していた前任者の目に留まり、平成二十一年から地区委員を引継い

てくださいました。長安さんは備中里組の第二期連続研修会(連研)を受講したのち、平成十九年に本山での中央教習を受講し、本山から門徒推進員を委嘱されました。当寺では現在、唯一の門徒推進員であると同時に、門信徒会事務局の庶務としてお寺の行事の推進に尽力してくださっています。

また、笠岡市観光ガイドボランティアとして、笠岡市内とその周辺の魅力を多くの方に紹介しています。(笠岡放送で長安さんのご活躍ぶりをご覧になりました方も、いらっしゃるのではありませんか)

降誕会に  
お参りください

親鸞さまのご誕生をお祝いする法会です。共々にご誕生をお祝いいたしましょう。

◎期 日 5月14日 午後1時30分

◎行 事

・法 要 和訳『正信偈』

・奉賛行事

第一部

“みんなて歌おう仏教讃歌”

浄心寺女声コーラス同好会

第二部

降誕会寄席

六代目 笑福亭松喬 師匠

今年も降誕会に上方落語の中堅として活躍している六代目、笑福亭松喬師匠をお迎えします。

どうか「ほんまもの」の落語をお楽しみください。

六代目  
笑福亭松喬

古典落語に力を注ぐ上方落語の中堅で、早くからその力量を注目されていた実力派。派手さはないが重厚味あふれる芸風、じっくり聴かせるタイプの噺家である。



仏婦研修旅行



三月十三日(日) 十三時半より参加者五十五名による協議並びに各種行事経過報告をしました。

また、福山市・光行寺の坊守、苜屋光子さまのご法話は大変わかりやすく、坊守であり嫁でありひとりの女性としての身近なお話しが心に響きました。

仏婦例会

還 浄(げんじょう)



高橋	水原	増田	宮地	水原	藤井	菅	桑田	水原	森山	三宅	亀岡	藤井	石角	亀岡	平田
茂子	アサ子	定子	千鶴	保義	勘一	富子	佳久	清晴	巖	貞子	幸恵	義夫	幸子	誠	君子
4	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	1	1	1	1	1
14	23	22	18	18	15	26	7	22	18	8	29	23	7	7	6
83	78	95	88	72	94	96	76	85	78	83	93	92	94	84	99
西本町	入江東	城見台	里庄町	大磯	生江浜	浅口市	住吉	入江東	中央町	大久保	浅口市	殿川北	昭通	浅口市	大久保





### 浄土真宗



## 教えと そのあゆみ

### 7、真宗の各派について(5)

#### 真宗・興正派

所在地 京都市下京区堀川通  
七条上がる  
所属寺院数 五二〇余ヶ寺

名称の由来は、文明十四年(一四八二) 高田門徒の系統に属した仏光寺十四代教豪(一四五―一四九二)

江戸時代には、しばしば別派独立を企てましたが果たせませんでした。

が本願寺八代蓮如に帰依し、仏光寺のものとの名称であった興正寺を用いて興正寺蓮教と名

乗ったことに由来します。その後、

蓮教の子、蓮秀は本願寺の一家衆として待遇され顕如の次男顕尊が本願寺から入ることなどがあり、本願寺教団内で特別な位置を占めました。

明治九年(一八七六) 真宗四派の大教院分離に際して、独立し、真宗興正派と称しました。鎌倉期の写本の三経往生文類や室町期蓮如花押の六要抄などを蔵します。

所在は西本願寺に南隣し、本願寺の一角のように見受けられますが、重層の阿弥陀堂などの伽藍は目を見張らせます。真宗十派からなる真宗教団連合の一員として連携を深めています。

先年、門信徒会での念仏奉仕団で上山の際には、興正会館に宿泊させていただきました。

### 行事予告

#### 「白石島を歩こう」



◎対象 門信徒に限らず誰でも(小学生未満は保護者同伴)

◎場所 浄心寺集合

◎日時 五月二十一日(土) 八時集合、十五時半頃解散

◎参加費 大人 五〇〇円 子供 三〇〇円

(弁当、船賃込。弁当 不要の小児は無料)

白石島にわたり、山登りをします。天然記念物の鎧岩や、タイ式の仏舍利塔などがあります。昼食は白石の特産物で作った「島弁」です。小雨決行、船欠航の場合は中止。申込みは浄心寺まで。

◎締切り 五月十四日(土)

備中里組仏教青年部会主催

### 編集後記

未曾有の東日本大震災の報に愕然とさせられました。門信徒の皆様お元気にお過ごしでしょうか。来る五月十四日の宗祖降誕会法座の御案内の浄心寺だより第95号をお届けします。

今回の法座も上方落語「笑福亭松喬」さんの落語を拝聴します。どうぞお参り下さい。(庶務)

## キッズサンガ サマースクール

7月21日(木)~22日(金)

1泊2日

小学生のみなさん  
きてね!!

